

## 2 目標達成計画

事業所名：グループホーム「平」

作成日：平成26年6月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2 ・ 4 ・ 35	地域交流スペースの有効活用を勧めることで、事業所も含め、地域交流や地域活動、および有事の際の活動拠点とすることができる。	社会福祉事業にたずさわる者として、平常時より災害、防災に関心を持ち、地域住民との協力体制を築く。	事業所全スタッフがいくつかのチームを編成し、地域交流活動や、防災意識向上を図るための委員会活動を通じた活動をしていく。	12 か月
2	23 ・ 27 ・ 28	日々の様子や健康状態の他に、会話から得たその方の思いであったり、その方らしく過ごすための気づきの記録や連携が、支援に十分に活かせていない。	本人の本当の思いや希望、また意向に、スタッフそれぞれが気づく力を養い、チームで支える。	内部での勉強会の開催、外部の研修への参加を積極的に行う。また、専門職としての知識や技術の向上だけでなく、人としての関わる意識を、事業所理念に取り入れる。	12 か月
3	30 ・ 33 ・ 34	それぞれの入所者が、数か月後、数年後をどのように在りたいと考えているか、本人、家族の意向の把握が不十分である。	心身の重度化や終末期を迎えた時、本人も家族も納得が得られるよう、話し合う機会を多く持つ。	事業所としてできることを具体的に、一人ひとり丁寧に説明していく。さらに、日頃から、かかりつけ医の協力のもと、状況、状態に応じ、適切な医療、看護、介護が受けられるよう体制づくりに努める。	12 か月
4					か月
5					か月